

当面の課題に取り組む 予算編成

【一般会計・特別会計 総額 10,252,091千円可決】

3月定例会

3月定例会は、3月7日から18日までの12日間の会期で開催されました。

平成31年度当初予算や平成30年度予算の補正、条例の制定や改正、専決処分の報告、追加議案の人事案件などについて審議し、すべて原案のとおり可決・同意されました。

一般質問(8ページより)では、7名の議員が登壇し、町政をただしました。

予算特別委員会 質疑・討論

一般会計

質問 佐藤喜一議員

今年度の固定資産税の不能欠損額の想定は。

答弁 税務課長

今年度は決定していない、29年度は約2,100万円欠損。

質問 須藤俊一議員

法人税割が昨年より多いのは。

答弁 税務課長

実績に基づいて、今年度は約1,900万円多く計上。

質問 鈴木政夫議員

消費税増税を念頭に予算を組んでいるのか。

答弁 総務課長

見込んでいる。

質問 藤田智之議員

たばこ税減額の要因は。

答弁 税務課長

禁煙者が増え加熱式たばこが増えていたため、加熱式たばこは今後5年をかけて段階的に増税される。

質問 須藤俊一議員

自動車取得税交付金が大きく減額されているのは。

答弁 総務課長

消費税率が上がる為廃止になる。

質問 佐藤喜一議員

除染対策費の今後は。

答弁 住民課長

1か所を除いて今年度で一段落する予定。

質問 佐藤喜一議員

塚原地区でのコミュニティ事業は。

答弁 総務課長

集会所建設に対する助成。

質問 和知良則議員

ルネサンス棚倉の経営状況の説明は。

答弁 産業振興課長

31年度も6月に行う。

質問 須藤俊一議員

ルネサンス棚倉の債務負担行為の内容は。

答弁 産業振興課長

金融機関への返済残金が5,900万円。特別区に残り4,000万円。

質問 藤田智之議員

賠償金の見込みはあるのか、紛争解決センターの利用は。

答弁 産業振興課長

その後、東電からの返答は無い。紛争解決案の協議はしていない。

質問 藤田智之議員

ルネサンス棚倉の今の状況を町民に説明すべきでは。

答弁 産業振興課長

どのような方法が良いか検討したい。

質問 藤田智之議員

職員を派遣してテコ入れすべきでは。

答弁 産業振興課長

過去にも職員を派遣した事は無い。

質問 藤田智之議員

以前は職員の派遣があったと記憶しているが。

答弁 産業振興課長

ルネサンス棚倉内に活性化対策室が置かれ職員が配置されていたが、職員の派遣はない。

質問 藤田智之議員

実態は変わらない、検討すべきでは。

答弁 産業振興課長

産業振興課で指導していきたい。

質問 藤田智之議員

上手くいかなかったときの想定も必要では。

答弁 産業振興課長

今後の方向性についても十分協議したい。

質問 藤田智之議員

綿密に監督していく必要があると思うが。

答弁 産業振興課長

議論はしている。

質問 鈴木政夫議員

ルネサンス棚倉への委託料6,000万円、貸付金として4,000万円の振興計画との整合性は。

答弁 地域創生課長

時期が今年度の調整に間に合わなかった。

質問 藤田智之議員

オーストラリアのホームステイ事業で参加できなかった事例があると聞いたが。

答弁 地域創生課長

先方の受け入れ予定数を超過したため、抽選漏れした生徒には、平成31年度に優先して案内する予定。

質問 須藤俊一議員

南側駐車場の整備の予定は。

答弁 総務課長

80台を駐車できる駐車場を砂利舗装で整備したい。

質問 須藤俊一議員

31年度の地域おこし協力隊への対応は。

答弁 地域創生課長

継続して募集する。内容は再検討する。

質問 藤田智之議員

タクシー利用券の導入で、路線バスへの補助の見直しは、交付税はあるか。

答弁 産業振興課長

調査等をして検討していきたい。

答弁 総務課長

交付税の措置は無い。

質問 須藤俊一議員

堤地区の信号機の撤去の話はあったのか。

答弁 住民課長

町にも公安から一切事前通知はなかった。カーブミラー等の安全施設を設置していく。

質問 鈴木政夫議員

行政区長からの防犯灯の要望は。

答弁 住民課長

設置要望が55件、27件を施工し28件が未施工。

質問 藤田智之議員

移住支援事業の内容は。

答弁 地域創生課長

県と市町村共同の事業で東京23区から地元企業に就職すると100万円を限度に交付される。予算は1件分を計上した。

質問 藤田智之議員

保育所運営費が大きく減つた要因は。

答弁 子ども教育課長

3歳児以上が幼稚園に多く入園したため。

質問 古市泰久議員

高齢者にやさしい住まいづくり事業で、災害等の事情での再度の該当はあるか。

答弁 健康福祉課長

状況により該当になる場合もあるが、非該当の場合は今後検討していく。

質問 須藤俊一議員

福島県の安全安心推進事業及び飼料用米減額の根拠は。

答弁 産業振興課長

原発事故の損害賠償金の査定が厳しくなったため、飼料用米10aあたり1万4千円であり、主食用米の値段と合わせている。

質問 須藤 俊一 議員

農業振興費が毎年大幅に減額しているが。

答弁 産業振興課長
飼料米、飼料用米等の助成、水田営農対策事業や農業次世代人材投資事業の減額が多い。

質問 佐藤 喜一 議員

地域おこし協力隊と新規就農者の補助は併用できるのか。

答弁 地域創生課長
同時に受けられるような状況はないが、今後調査していきたい。

答弁 産業振興課長

時期をずらせば該当はできる。

質問 藤田 智之 議員

プレミアム商品券事業は交付対象が制限され問題が起るのではないかと。広く利用できるものを予定しているのか。町独自の上乗せは。

答弁 産業振興課長

非課税世帯などが対象となる利用はスーパー等でもできる予定。上乗せは考えていない。

答弁 町長

この事業には課題があると思うが、検討を重ねて実行したい。

質問 須藤 俊一 議員

町道沢目上台線の改良計画は。

答弁 整備課長

平成31年度から3か年で整備をする。

質問 佐藤 喜一 議員

町営住宅の解体の予定は。

答弁 整備課長

祖父岡住宅の解体を予定。

質問 菊池 忠二 議員

棚倉城跡保存活用計画での町民の意見は。

答弁 生涯学習課長

具体的には決まっていなくても考慮はしたい。

質問 藤田 智之 議員

文化センターの改修費の計上が無いのだが。

答弁 生涯学習課長

改修の計画を立ててから計上したい。

国民健康保険

特別会計予算

質問 鈴木 政夫 議員

滞納の世帯の状況は。

答弁 住民課長

1ヶ月の短期保険者証が19世帯、3ヶ月が25世帯、6ヶ月が25世帯、資格者証が1世帯。

質問 藤田 智之 議員

子供は医療費がかからないので、滞納に関係なく交付されているのか。

答弁 住民課長

高校生以下の子供は通常の保険証を交付。

上水道事業

会計予算

質問 須藤 俊一 議員

現在石綿管はどのくらいか？誘致企業への接続で残っているところへの対応は。

答弁 上下水道課長

石綿管は、約10キロ。統合計画の中で、早めに対応していく。

当初予算採決の状況

賛成10名
反対1名

国民健康保険特別会計予算の原案をめぐって討論が行われました。

賛成 藤田 智之 議員

平成31年度国民健康保険特別会計予算について反対の立場で討論する。

賛成 鈴木 政夫 議員

今回の予算は、歳入歳出13億3238万5千円、国保税が前年対比4,593万円となっている点である。国保税はその仕組み上、所得が低くても課税されることになっており、必ず滞納世帯が出てくる。棚倉町でも250数世帯の滞納があり、短期証が交付されており、そうした中で国保税の引き上げは絶対避けるべきである。加えて10月から政府は消費税の増税をやるようにしている。国保税の引き上げは絶対避けるべきである。以上の理由により、反対の態度を表明し討論とする。

当初予算採決の状況

一般会計予算の原案をめぐって討論が行われました。

賛成10名
反対1名

反対 鈴木 政夫 議員

平成31年度一般会計予算について反対の立場で討論する。

ルネサンス棚倉は、指定管理委託料として6,000万円、無利子の貸付金4,000万円、合わせて、1億円新たに支出される。これは町財政を圧迫し、町民に対する施策を後退させる重大な問題である。ルネサンス棚倉の経営については、第3セクターのあり方も含め真剣に検討されるべきで、その形跡はみじんもない。

タフシー利用券交付事業は、町民の要望に応じて実施したことは評価できるが、内容が不十分である。なぜ使用枚数を制限するのか。また、遠隔地も同じ48枚なのか疑問である。

さらに子育て支援策が各自治体で進められ、学校給食費無料化や一部助成が進められている。この問題は、町内の保護者



の支援であると同時に、他町村から移住してもらう意味も含めて重大な問題だと考える。この問題については、本予算案には一切取り上げていない。人口減少の中でこの自治体でも定住促進策を真剣に検討している。しかし、本予算案では働く場所の企業誘致活動にはほとんど予算がついておらず、真剣度が問われる問題である。問題点の一部を指摘し、反対の態度を表明し討論とする。

賛成 佐川 裕一 議員

平成31年度一般会計予算に対し賛成の立場で討論する。

今回の予算案は、歳入面では町税全般で大きく見込みない厳しい状況の中、地方交付税や交付金、各種基金を有効に活用するなど積極的な財源の確保に努めるとともに、事業の重点選別により地方債の借入額を抑えるなど、財政健全化の努力が見られる。

一方、歳出面では、歴史文化関連や地方創生事業をはじめ、高齢者や障害者などに対するタフシー利用料金助成事業、原発事故の風評被害払拭の取り組みや、米の全量全袋検査の継続、交付金補助などを活用した側溝堆積物の撤去処分や、森林環境整備等、森林助成を目的とした福島森林再生事業の実施規模を拡大している。

また、子育て世代包括支援セ



ンターの設立やすこやか赤ちゃん応援事業の継続など、子育て支援施策や、社会資本整備交付金による車道の拡幅や舗装整備、健康増進事業やキャリア教育の強化、町民の居住環境整備、健康福祉、教育環境をより一層充実させるため各分野における予算を確保した内容である。

なお、ルネサンス棚倉への指定管理委託費及び経営安定化を図るための貸付金については、経営の安定化を目指し、地元経済の波及、雇用確保のため、現時点ではやむを得ない状況と判断している。

したがって、厳しい財政状況の中、町民福祉向上のため、第6次振興計画に掲げる施策実現を目指している予算案を、私は適切なものと考え賛成の意を表明し討論とする。

●平成30年度補正予算●

3月補正予算の状況

(△は減額表示)

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計		△74,668千円	6,786,903千円
特別会計	国民健康保険	△26,889千円	1,373,901千円
	後期高齢者医療	1,730千円	141,202千円
	介護保険	△54,677千円	1,379,615千円
	公共下水道事業	△811千円	281,434千円
	簡易水道事業	170千円	35,299千円
上水道事業会計	収益的収支	収入	60千円
		支出	511千円
	資本的収支	収入	279千円
		支出	900千円
		収入	426,543千円
		支出	366,283千円
		収入	193,858千円
		支出	339,249千円

人事案件

よろしく
お願い致します



2件の人事案件について、全会一致で同意しました。

棚倉町副町長の選任



鈴木 敏光さん
(流)

人権擁護委員候補者の推薦



畠山 真一さん
(新町)

町長の専決処分の一部改正 (通年議会)

鈴木政夫議員の発議により、町長の専決処分の一部改正について議案が提出され、質疑・討論が行われました。

【提出者】鈴木政夫議員

提出議案の内容

平成30年9月議会で議決した通年議会の導入に当たり、町長の専決処分の一部改正が必要であり、執行部との協議も調ったため。

【賛成者】

- 和知裕喜議員 蛭田卓雄議員
- 古市泰久議員 佐川裕一議員
- 藤田智之議員 菊池忠二議員



議案を提出した鈴木政夫議員

問 須藤俊一議員

通年議会の導入について、町長、町部局と何回打合せをしたのか、実施要綱を先に定めて、専決に入るのではなかったか。

答 鈴木政夫議員

町当局との打ち合わせは1回。町当局に理解を得て回答がきたのでそれ以上の必要はない。町長、町当局と合意にいたったので、専決を先にした。

問 須藤俊一議員

棚倉町に合った専決をどの様に考えて発議されたのか。

答 鈴木政夫議員

事務局に骨を折って作って頂いた。3月1日の議会運営委員会で議事事務局は、通年議会の導入を妨げているとの発言をした委員がいるが、委員長として認識は。

問 須藤俊一議員

私は、その質問に答えるつもりは全くない。

答 鈴木政夫議員

先進地視察等の中で、各議員が自主的に勉強されているので、私が改めてその問題について言う必要はない。

問 佐藤喜一議員

通年議会の導入目的について質問したが明確な回答がないが。

答 鈴木政夫議員

先進地視察等の中で、各議員が自主的に勉強されているので、私が改めてその問題について言う必要はない。

問 佐藤喜一議員

導入目的について、小野町議会の内容を持ってほしいものだと、議会運営委員会で意見が出されたと聞いているが委員長としてはどんな考えか。

答 鈴木政夫議員

小野町に限らず、先進地の事例を十分研究した学んで、我が町の議会の運営に適用させていく、事務局に、各地の先進的な事例を取り入れてもらった。

問 佐藤喜一議員

委員長は、今後小野町を参考に、この町議会用に目的導入理由について、今後検討、選定してもらえるのか。

答 鈴木政夫議員

この問題は、小野町だけの問題ではなくて、既に実施している全国各地の先進的な事例もあるので、学んでいく必要がある。

【反対討論】 和知良則 議員

今回提出された専決処分は、通年議会の試行的導入に向けたものと理解している。しかしながら通年議会を導入する際は実施要綱を策定し、その際必要となる専決処分の協議を行う事が前提となる。実施要綱があつての専決処分であるという基本中の基本が置き去りにされている。鈴木政夫議会運営委員長は、通年議会に必要な内容を町当局と十分なすり合わせを行うとされてから6ヶ月が過ぎるが町当局との話し合いは一度もなく、議事事務局より小野町議会の専決処分を参考として提出されたものを、そっくり棚倉町に置き換えただけの専決処分改正新旧対照表

【賛成討論】 藤田智之 議員

私は町長の専決処分の一部改正について賛成の立場で討論します。今回の改正は、資料をみてみれば分かる通り、専決を制限するものではなく連続した会期となった時に不合理な点が発生することが無いよう従来の規定に加えて拡大容認するものです。通年議会の導入は9月議会の採決の結果導入が決定されていること、町執行部とも協議が整い内容についても十分審議されていること、通年議会の導入に先駆けて、必要な改正を図ることは合理的であると考える賛成討論とします。

町政を問う

3月定例会では7人の議員が登壇し質疑を行いました。
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。



1 古市 泰久 議員 9ページ

1. 防災対策は
2. スクールバス運行の実施は
3. 平成31年度プレミアム付き商品券発行は

2 佐川 裕一 議員 10ページ

1. 道路行政は
2. 修明高校への対応は
3. ふるさと納税は

3 藤田 智之 議員 11ページ

1. 基礎学力の向上のための取り組みは
2. サテライトオフィスの誘致は
3. 小学校の統合は

4 鈴木 政夫 議員 12ページ

1. タクシー利用の抜本的改革は
2. 人口減少と少子化対策は
3. ふるさと納税制度の積極的な活用は

5 藤田 光子 議員 13ページ

1. 救急患者に対する受け入れの状況は
2. 医療費負担の不安を解消するPRは
3. 「歴まち小京都棚倉」の進捗状況は
4. 旧棚倉高校跡地はどうか

6 菊池 忠二 議員 14ページ

1. 道路の整備計画は
2. 第5次行政改革の基本方針と推進目標は
3. 公共的な場でのインフルエンザ対応は

7 佐藤 喜一 議員 15ページ

1. 奥野自然活用基金による里山事業は
2. ふるさと納税を利用した地域活性化は
3. 道路側溝堆積物撤去事業の実施は

問 町の防災組織体制は

答 防災計画に基づき、対策本部を設置

問 自主防災組織の現状と活動内容は。

町長 11団体が組織されており、避難訓練や炊き出し、研修会への参加等。

問 自主防災組織の全国組織は85%前後であるが、本町の組織率は何%か。今後の具体的な方策は。

住民課長 組織率は約20%である。今後、町の補助制度や宝くじ助成事業を活用していく。

問 災害対策基本法第5条の規定の中で、自主防災組織の結成の取り組みは、市町村の義務であると明記されている。20%の結成率では義務が果たされていないと評価される。結成補助制度等、行政区に対し説明されているのか。

住民課長 一年一度の行政区長会議の席上で説明している。

問 特に、一行政区の防災組織の活動が進んでいると聞いてい

るが。

住民課長 県のモデル事業として取り組んでいる。区民自らが災害時に取る避難行動を徒歩で確認し、地図上に記入した防災マップを作成する等の活動をしている。

問 防災マップに疑問点がある。土石流警戒区域指定地内に、一時避難所に指定した集会所施設等々が点在している。なぜ、このような表記設定をしているのか。

住民課長 災害の時、自分がどこに逃げるか、この防災マップをもとに各自考えていただきたい。

問 障害者や母子への支援体制は。

町長 避難行動要支援者は、関係機関に協力を依頼し情報を事前に提供することにより、安否確認や避難支援等迅速な体制の整備に努めている。

問 食料、飲料水の備蓄体制は。

住民課長 食料で1000人程度、飲料水は140人程、各々備蓄されている。

問 液体ミルクの備蓄は考えているか。

住民課長 当然、備蓄品として検討していく。

問 避難勧告命令を発動する判断は。

町長 住民の安全を図るため臨機応変に応じ、速やかな勧告等々の発動が必要である。



疑問が残る防災マップ

問 スクールバス運行の検討結果は

答 概算費用等を含め検討している

問 概算予算額は。

子ども教育課長 スクールバス等購入額も含め、約7,400万円と試算している。

問 プレミアム商品券発行の意向は

答 平成31年度当初予算に計上する

問 対象世帯と子供は何人か。

産業振興課長 非課税世帯と0歳児から二歳児を含めて約5000人程度を予定している。



ふる 古市 泰久

問 道路行政を問う

答 現道の安全な通行の確保に努める

問 国道289号線の整備状況と計画は。

町長 ふくしま道づくりプランにおいて「基幹的な道路」として位置付けられており、広域的な物流・観光と救急・地域医療などを担う重要な路線であることから、鮫川村内2箇所において改良工事や橋りょう上部工事を行っており、平成31年度も引き続き実施するとの事である。また、事業計画の策定に向けた地表地質調査や土地利用状況調査も併せて実施しており、事業化に向けた調査、検討を進めるとの事である。

の事である。

問 町道の整備は。

町長 町道の利用状況等を確認しながら、社会資本整備総合交付金による整備計画や、辺地総合整備計画に計上し整備していく。

問 修明高校への対応を問う

答 引き続き町で可能な限り積極的に支援していく



町とのより一層の連携が期待される修明高校

問 修明高校の図書館等公共施設利用料の減免は。

町長 現状では、「修明高校」に特定した減免はしていないが、施設の使用目的並びに実施する事業の内容が、支援すべき内容である場合には、減免をすることができるとの事である。

問 修明高校の図書館等公共施設利用料の減免は。

町長 最近3年間の寄付金額は、平成28年度は666万円、平成29年度は10,589,465円、本年度は2月20日現在で

36,133,000円。

問 希望の多い返礼品は。

町長 最も多いのは、おむつなどの衛生用品で、次いで、野菜及びいちご、続いて米、牛乳、ブルーベリー製品、ゴルフプレー券が多く希望されている。

問 今後、寄付額を増やすために考えていることは。

町長 返礼品の見直し拡大をはじめ、ふるさと納税サイト登録数の拡大を検討。



棚倉町が登録しているふるさと納税サイト「さとふる」

問 小学校の統合をどう考えるか

答 現在、検討などはしていない

問 子供の数の予測から、統合は避けては通れない課題と思うが将来を見据えての検討や調査研究は。文科省の小規模校統合の目安や基準と当町の状況は。中学校でのスクールバス先行導入が、小学校統合への理解を深める有効な方法では。

教育長 文科省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」で総合的な観点からの分析や保護者や地域住民の理解などが示されているが、当町では現在統合に向けた検討は行っていない。複式学級も基準に基づいているので問題はないと考えている。調査研究も行っていないが今後、町全体の学校等の将来ビジョンの検討は必要と考えている。中学校でのスクールバス導入の必要性は十分認識しており、予算も含めて検討中である。

問 将来の統合は避けられない、少なくとも調査研究すべきでは。

子ども教育課長 統合ありきではなく、町全体として検討する必要がある。



棚倉小学校も児童数が減少

問 学力テストの公表は

答 ホームページに掲載

問 基礎学力の向上への取り組みは。学力テストの状況と分析、その対策は。リーディングスキルも検討してはどうか。Aーに負けない学力が必要では。

3 棚倉町の小中学校と全国の平均正答数比較

【棚倉町内小学校】				【棚倉町内中学校】				
教科	年度	全国	棚倉町	教科	年度	全国	棚倉町	
国語A	H30	8.5/12	8.6/12	8.3/12	国語B	H30	24.3/32	24.2/32
	H29	11.2/15	11.4/15	10.9/15		H29	24.8/32	24.8/32
	H28	10.9/15	11.0/15	11.2/15		H28	25.0/33	24.9/33
算数A	H30	4.4/8	4.3/8	3.9/8	算数B	H30	5.5/9	5.5/9
	H29	5.2/9	5.1/9	4.9/9		H29	6.5/9	6.5/9
	H28	5.8/10	5.7/10	5.7/10		H28	6.0/9	5.9/9
理科	H30	8.9/14	9.0/14	8.8/14	英語	H30	23.8/36	22.9/36
	H29	11.8/15	12.1/15	11.8/15		H29	23.3/36	22.6/36
	H28	12.4/16	12.3/16	12.8/16		H28	22.4/36	21.2/36
道徳	H30	5.1/10	5.1/10	4.9/10	総合	H30	6.6/14	6.2/14
	H29	5.1/11	5.0/11	4.7/11		H29	7.2/15	7.0/15
	H28	6.1/13	6.0/13	6.3/13		H28	6.6/15	6.2/15
体育	H30	9.6/16	9.6/16	9.2/16	保健	H30	17.9/27	17.7/27
	H29					H29		
	H28					H28		

【表の見方】
小学校国語Aの全国平均正答数の場合は、全範囲12問中8、5点、福島県の平均正答数は、12問中8、6点、棚倉町の平均正答数は、12問中8、3点であることを表しています。

学力テストの公表ページ

問 サテライトオフィスの誘致は

答 今後、調査研究したい

問 新たな企業誘致の形としてIT企業などのサテライトオフィスに取り組んではどうか。ルネサンス棚倉も有効活用できるのでは。

町長 現在取り組んではいませんが、県等とも連携しながら先進事例等も調査し研究していきたい。ルネサンス棚倉の有効活用は連絡調整会議で意見交換しながら検討していきたい。

問 工場誘致のみの考え方を改めて、先進事例を調査して取り組むべきでは。

産業振興課長 県内でも取り組み事例があるので今後、事業担当を決めて、訪問し調査研究を進めたい。



藤田 智之



佐川 裕一



搬送先を待つ救急車



問 受け入れ体制の充実、医師確保の町独自の考えは。

町長 東白川地方町村会活動として厚生連や福島県、福島県立医科大学に地域医療の充実と医師確保に関する要望活動を続けていく。

問 救急患者受け入れの現状改善策は

答 白河地方救急医療運営協議会に要望

町長 タクシー利用券の抜本的改革については、タクシー事業者や、利用者の意見をもとに事業内容を検証した結果、本年4月1日より、1回の利用枚数の上限を1人1枚から4枚に拡大する。

次に1月31日現在で、1,700名の対象者に対し、交付者数が575名となり、3割程度である。利用実績については、7月1日から1月31日までの7ヶ月において、利用者436名、延べ6,934件の利用があった。



高齢者の足として期待される町内のタクシー

問 1回につき4枚利用は一歩前進だが、片道4枚往復8枚のところは、月2回病院などに通う場合、3か月で利用券がなくなる。距離数によって利用券の配布枚数を検討すべきと思うがどうか。

産業振興課長 遠い近い関係なく、同じ48枚である。将来的には検討していきたいと思っている。

問 タクシー利用券の抜本的改革を

答 一回の利用枚数を一人四枚に拡大

問 医療費負担に不安があり診療、手術にふみきれない現状があるが。

町長 国民健康保険や後期高齢者医療保険には、医療費の自己負担額が高額になった場合、自己負担限度額を超えた分を高額療養費として支給する制度がある。また、入院など、医療費が高額になる場合は、加入者の申請により「限度額適用認定証」の交付を役場の窓口で受け、医療機関に提示すれば、自己負担限度額までの支払いで済む制度もある。

問 医療費負担の不安を解消するPRは

答 町のホームページなどで情報を掲載



わかりやすいガイドブック

問 「歴まち小京都棚倉」の進捗状況となぜ棚倉が小京都なのか、交通アクセスの整備をすべきでは

答 平成27年11月、30年10月の町広報紙で周知しており、引き続き本町の魅力を全国にPRし、誘客を図っていく。交通アクセスの整備については、関係機関と協議、連携し調査・研究していく。

問 人口減少と少子化対策

答 総合戦略の積極推進を図る

問 人口減少問題は、わが町にとっても存亡の危機といっても過言でない状況になっている。町としてこれまでの継続でよしとするのか、またどのような対策を取るつもりなのか見解を求めたい。

町長 人口減少・高齢化問題については、人口減少に歯止めをかけるとともに、移住・定住の促進につなげていきたい。

学校給食費無料化については、幼児教育の無償化やスクールバスなど遠距離児童・生徒の通学支援等、優先度の高いものから、財源を確保し、実施・検討をしている状況なので現在のところ無料化は考えていない。



鈴木 政夫

問 ふるさと納税の積極的活用

答 今年度1,813件

問 ふるさと納税制度のわが町の実績については、平成28年度、666万円、29年度、1,058万円、30年度、3,613万円と年々納税額が増加している。

こうした中、返礼品の内容が問題になってくると思われるが、町内で産業が生み出す農産物や製品を広く全国に提供されることは極めて有意義である。

町長 返礼品の選定は、平成28年度にカタログを作成した際に、町内業者及び団体に公募し返礼品を決定している。



藤田 光子

問 旧棚倉高校舎はどうなるか

答 31年度から校舎解体工事が行われる予定

問 県営施設を望んでいる跡地利用についての計画は。

町長 今の所ないと聞いているが今後も県営施設の活用を要望していく。

問 現状も含め、老々介護による通院治療の問題、今後増えるとも減らない、一生継続く糖尿病患者に対する透析治療院の設立を強く希望し提案するがどうか。

町長 現在のところ県において透析治療院を設置する計画はないと聞いているが、跡地利用の1案として有効活用できるかと理解している。今後更に調査し、検討を続けていく。

問 長期的な町道整備計画はあるか 答 5年間の計画を策定、実施

問 県道や国道の整備要望箇所は何箇所かで現況の進捗状況は。

町長 道路、歩道整備の要望を十九件、期成同盟会においても引き続き要望して行く。

問 横断歩道の整備の要望は何件あるのか。

町長 花園区から1件、通学路安全対策推進会議から5件。

問 これらの横断歩道の要望の実現は。

整備課長 沢目上台線は平成31年度から道路整備計画を持っていて、これまでも公安委員会と協議をしており行政区の要望があったので併せて要望していく。他の地区も同様。

問 県内最大規模の棚倉幼稚園近辺の通学路は園児、小学生、中学生が通行、人数も多く道路の拡幅が必要だがこの城跡日向前線の整備計画はあるか。



横断歩道の設置が待たれる沢目上台線

整備課長 相当数の子供達が通学しているのは認識している。拡幅の予定はないが、一方通行の検討、車道の外側線、路側帯の白線を整備し安全確保に努めていく。



問 第5次行政改革の推進目標の進捗は
答 数値では表せないがほぼ計画どおり

問 効率的な行政運営はされているか。

町長 限られた財源で事務事業の見直しを行っている。

問 協働のまちづくりの成果は。

町長 行政主導でなく住民参加で役割分担の行政が行われている。

問 効率的な運営を検証するのは何処か。

総務課長 職員自らと町民に願う。

問 町有財産の寺山集会所の更新は。

総務課長 集会所は行政区が主体的に計画し、町が支援の検討を図る。

問 文化センターの雨漏り修理は。

生涯学習課長 修繕の手法を検討している。

問 公的な場でのインフルエンザ対応は
答 予防接種等の対応をしている

問 昨年と比べてどうか。
子ども教育課長 小中学校だけが減少している。

問 家庭でのガイドラインや協力も大事では。
子ども教育課長 お使いなどで周知を図っている。

問 受験生などの感染については十分に予防され対応をすべき。
子ども教育課長 熱がなくても、咳やだるさがあったら医療機関の受診をお願いしている。



問 里山活動のモデル地区を指定しては 答 ルネサンス棚倉周辺の山林整備を予定

問 寄付された方の願いを形にするためには、モデル地区を選定して事業を集中させる事も必要と思われるが。

町長 平成31年度よりルネサンス棚倉周辺の山林を中心に、遊歩道の整備やエドヒガン桜の苗木の植樹などを予定している。

問 補助金交付の3年間では、期間が短すぎるように思われる。実績を上げるまでに補助期間が終了してしまうのでは。

産業振興課長 内容については検討したが、事業内容などを精査すると、やはり3ヶ年の期間となる。

問 例えば観光協会も、里山事業の補助を受ける事はできるのか。

地域創生課長 新たな事業を組み入れていくのもありなのかなというふうには思っている。

問 奥野先生から早く里山整備の実績を上げて下さいと言われている。町長として、今後、この基金の使い方については、どのような方針で臨むのか。

町長 いろいろな場所をみんな、業者へお願いするのではなく、住民力を合わせて、整備を進めていきたい。



里山事業で設置した看板



ホタル事業の実施場所

問 ふるさと納税での地域活性化は
答 カタログとポータルサイトを刷新

問 ふるさと納税を利用しての地域活性化について町の方針は。

町長 平成28年度より取り組みを強化し、返礼品の見直しにあわせて、カタログの刷新とポータルサイトの拡大を予定している。

問 今年度よりユニチャーム製品が、返礼品としてかなり好評を受けているようだが、更に拡大させていけば、町のふるさと納税額が伸びていくと思うが。

総務課長 現在のポータルサイトは1社であるが、あと2社ぐらいいを増やしていく方針である。

問 近津地区道路側溝堆積物撤去事業は
答 年度内に業務完了させる計画

問 平成31年度に実施させる近津地区の道路側溝堆積物撤去事業の内容は、どのように計画されているのか。

町長 現在、測量調査を実施しており、その結果を基に交付決定後、6月ごろに撤去業務の委託事業を、入札により発注して、年度内に業務を完了させる計画としている。

問 撤去堆積物の集積保管については、どのようにしているか。

整備課長 町が、現在仮置き場として貸借しているのは戸中地区で、戸中以外に置く予定はない。



佐藤 喜一



菊池 忠二

全国町村議会議長会表彰



受賞者 和知 良則 議員

去る31年2月6日、第70回全国町村議会議長会定期総会において、議員として15年以上在籍し、功労のあった方が、自治功労者として表彰されていました。今定例会において、議長より表彰伝達式が行われました。

● 2/13 群馬県明和町議会報編集委員会の皆さんと



ようこそ「棚倉町」へ

議会だよりの編集作業の研修のため来町されました。



● 定例会・臨時会

会 議	開 会	閉 会	会 期	傍聴者数	一般質問		
					登壇人数	質問件数	
第1回(定例会)	3月 6日	3月14日	9	31	9	30	
第2回(定例会)	6月13日	6月15日	3	18	7	24	
第3回(定例会)	9月11日	9月14日	4	74	9	29	
第4回(定例会)	12月12日	12月14日	3	10	5	16	
合 計				19	133	30	99

● 提出議案数

種 類		件 数
町長提出	条 例	19
	予 算	35
	決 算	9
	専 決 処 分	7
	そ の 他 事 件	6
	合 計	76
議員提出	条 例	0
	意 見 書	4
	決 議	1
	規 則 / そ の 他	22
	合 計	27



予算特別委員会設置の様子

● 委員会等開催状況

区 分	委 員 会	開催日数
常任委員会	総務常任委員会	5
	厚生文教常任委員会	7
	建設経済常任委員会	3
	広報編集常任委員会	13
	議会運営委員会	10
	特別委員会	8
	議会全員協議会	8



参加した主な研修会等

5/28	全国町村議会議長・副議長研修会	10/16	県南地方町村議会議長会正副議長セミナー
6/4	福島県町村議会議長会定期総会	10/17～18	議会運営委員会研修
6/10	全国植樹祭	10/23	福島県町村議会議員研修会
7/2～4	常任委員会行政視察研修	11/1～2	全国監査委員研修会
7/26	東白川地方町村監査協議会総会	11/19～20	郡議長会自主研修会
8/22	東白川地方町村議会議長会議員研修会	11/21	第62回町村議会議長全国大会
9/17	県南地方総合防災訓練	12/19	東白川郡議長会議員研修会

(平成30年1月1日～12月31日)

・議会の活動状況を報告します・

言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

議会だよりでは一般質問における質疑と答弁が『要点』としてまとめられ、掲載されています。議会傍聴の機会が無い町民にとっては議会の様子がある程度知る事が出来ず、しかし傍聴することで緊張感の漂う議会の雰囲気もっと身近に感じ、『要点』からはつかない知らない多くの事を知る事が出来ます。

私達の代表でもある議員によって、町民のさまざまな意見が議会に反映され、町に届けられます。うまく行かなかった質問があったり、解り難い答弁はあっても議員さん達の日々の研鑽がうかがえます。

しかし一方で極々個別的過ぎる質問や、数字を確認するだけの質問、国県の事業で町が関知出来ない事柄、単に他町村の事例を勧める提案なども目立ちます。町民にとっての議会のあり方、一般質問の意味、議員のありようなど多くの事を考えさせる傍聴を私は多くの方々に勧めたいと思います。

寺山にお住まいの
後藤 眞守さん



逆川にお住まいの
酒井 明菜さん



私は、社川地区に住む三人の子供を持つ母です。以前、議会だよりに出ていた道路の危険箇所について、今一度見直しをかけて欲しいと思います。私の子供は、登校時の集合場所に行く際に一人が歩けるスペースの歩道や横断歩道がありません。近くには工場(会社)もあり、車の通行がたくさんあります。幸いにも地域の方々が教職員の方々の毎朝の見守りのおかげで事故は起きていませんが、万が一を考えれば、全体の道路危険箇所の点検、歩道の確保を見直して欲しいと思います。

また、三月上旬には社川地区内の子供達の通学路に設置されている交差点の信号機が撤去されました。私の地区に設置してある二基の点滅信号機の撤去の話も聞かれます。交通事故を防止するためにも、関係者や関係機関と協議し地域の声と実情にあつた対応をお願いします。私達親としても、これからも地域の子供達の為に安全に登校出来るように見守ってまいります。

あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

6月定例議会日程のお知らせ (予定)

正式日程は、6月上旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

6月12日(水) 開会・本会議

6月13日(木) 一般質問

6月14日(金) 一般質問・閉会



編集後記

「平成」から「令和」へ元号が改元されました。過ぎし時を振り返り、喜びの中で迎えた新しい時代が二度と、大きな災害、事故のない「平和」である事を祈ります。

記念すべき「令和」元年第一号「議会だより」を届けます。忌憚のないご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

広報編集常任委員会
委員 須藤 俊一



広報編集常任委員会

- 委員長 藤田 智之
- 副委員長 鈴木 政夫
- 委員 古市 泰久
- 委員 須藤 俊一
- 委員 藤田 光子